

# 令和3年度 小矢部市議会報告会

～withコロナ時代を迎えて～

日 時：令和3年11月26日（金） 19：00～20：00

開催場所：市民交流プラザ

総合保健福祉センター

津沢コミュニティプラザ

東蟹谷公民館



# 議会報告会 次 第

## はじめに

- 1.議会構成
- 2.議員紹介
- 3.9月定例会補正予算の概要
- 4.意見交換会の資料説明
  - ① 新型コロナウイルス感染症緊急対策に係る補正予算の概要 歳入・歳出の状況
  - ② 特別定額給付金給付事業など
  - ③ ケーブルテレビ光ファイバ整備事業費など
  - ④ ワクチン接種事業費など
  - ⑤ 商工業振興対策費など
  - ⑥ 教育委員会関係など

意見交換      テーマ      コロナ対策について ～withコロナ時代を迎えて～

# ※小矢部市議会の議会構成

## 議会議員構成

令和3年9月17日現在

議 長	吉 田 康 弘					
副 議 長	義 浦 英 昭					
総務産業建設常任委員会委員	委員長	加藤幸雄	副委員長	竹松豊一		
	出合和仁	義浦英昭	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭
民生文教常任委員会委員	委員長	山室秀隆	副委員長	林 登		
	谷口 巧	吉田康弘	藤本雅明	白井 中	福島正力	中田正樹
議会運営委員会委員	委員長	沼田信良	副委員長	石田義弘		
	山室秀隆	加藤幸雄	藤本雅明	嶋田幸恵		
公共施設再編特別委員会委員	委員長	石田義弘	副委員長	出合和仁		
	竹松豊一	加藤幸雄	白井 中	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭
地域活性化特別委員会委員	委員長	藤本雅明	副委員長	谷口 巧		
	林 登	山室秀隆	義浦英昭	福島正力	中田正樹	
決算特別委員会委員	委員長	白井 中	副委員長	山室秀隆		
	林 登	竹松豊一	出合和仁	谷口 巧	中田正樹	石田義弘
	嶋田幸恵	沼田信良	砂田喜昭			
議会だより編集委員会委員	山室秀隆	加藤幸雄	吉田康弘	藤本雅明	石田義弘	

# 9月定例会 補正予算の概要

令和3年度小矢部市一般会計補正予算、条例の一部改正、小矢部市教育委員会委員の任命同意など議案7件、議員から議員提出議案2件が提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意しました。

## 議案第34号 令和3年度小矢部市一般会計補正予算(第4号)

補正額 3億7,788.6万円 累計予算額 139億1,635.3万円

### 《主な事業》

- ・戸籍住民基本台帳事務費(国庫補助金を活用) **11,200千円**  
個人番号カードの交付率の向上及び申請体制の強化に係るもの
- ・児童福祉対策費(国庫補助金を活用) **2,951千円**  
子どものインフルエンザ予防接種費用助成事業の拡充
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業費(国庫補助金・県補助金を活用) **31,316千円**  
接種期間延長に係る追加経費及び医療機関に対する協力金の支給
- ・商工業振興対策費 **23,100千円**  
プレミアム付き商品券発行事業第3弾及びまちなか等振興事業への補助
- ・情報教育環境整備事業費 **24,532千円**  
タブレット端末の家庭学習用ACアダプター及び特別教室の電子黒板の整備

# 9月定例会 概要

## 議員提出議案第3号 コロナ禍における積極的な米価下落対策を求める意見書

国においては、コロナ禍の影響を精査し米生産者の経営安定に向けての支援の拡充はもとより、米の需給バランスの安定化を図るため、過剰在庫の解消や備蓄米の運営改善などのほか、今後の消費拡大のための積極的な対策を講ずるよう強く要望する

## 報告された事項

### 報告第4号 健全化判断比率について

実質公債費率 14.9% 将来負担比率 196.7%

### 報告第5号 資金不足比率について

資金不足額はありませ

# ①新型コロナウイルス感染症緊急対策に係る 補正予算の概要 歳入・歳出の状況

■令和2年度一般会計補正予算 新型コロナウイルス感染症対策費の状況					(単位：千円)			
補正予算略称	一般会計補正番号	新型コロナ 関連事業費	左の財源内訳					
			国庫支出金		県支出金	その他	一般財源	
				うち地方創生臨時 交付金（地方単独 分）				
R2. 5. 1臨時会補正	令和2年度一般会計補正予算第1号	3,090,404	3,074,339	28,267		1,000	15,065	
R2. 5. 15臨時会補正	令和2年度一般会計補正予算第2号	18,500					18,500	
R2. 6月定例会補正	令和2年度一般会計補正予算第3号	159,109	157,673	96,703	880		556	
R2. 6月定例会追加補正	令和2年度一般会計補正予算第4号	46,770	46,622	8,435	148		0	
R2. 7. 22臨時会補正	令和2年度一般会計補正予算第5号	836,002	596,042	269,049	237,960	2,000	0	
R2. 9月定例会補正	令和2年度一般会計補正予算第6号	59,055	95,309	95,309			▲ 36,254	
R2. 12月定例会補正	令和2年度一般会計補正予算第7号	41,657	12,121	10,921	348	26,765	2,423	
R2. 12月定例会追加補正	令和2年度一般会計補正予算第8号	9,192	9,192				0	
R3. 2. 22臨時会補正	令和2年度一般会計補正予算第13号	200,808	197,300		3,508		0	
R3. 3月定例会補正	令和2年度一般会計補正予算第14号	▲ 13,999	43,969	30,727	9,203	▲ 57,365	▲ 9,806	
合計		4,447,498	4,232,567	539,411	252,047	▲ 27,600	▲ 9,516	

■令和3年度一般会計補正予算 新型コロナウイルス感染症対策費の状況					(単位：千円)			
補正予算略称	一般会計補正番号	新型コロナ 関連事業費	左の財源内訳					
			国庫支出金		県支出金	その他	一般財源	
				うち地方創生臨時 交付金（地方単独 分）				
R3. 4. 23臨時会補正	令和3年度一般会計補正予算第1号	143,663	139,914	100,551	3,749		0	
R3. 6月定例会補正	令和3年度一般会計補正予算第2号	48,130	48,130	24,780			0	
R3. 6月定例会追加補正	令和3年度一般会計補正予算第3号	34,599	25,980		8,619		0	
R3. 9月定例会補正	令和3年度一般会計補正予算第4号	95,525	81,404	46,629	6,262		7,859	
R3. 9月定例会追加補正	令和3年度一般会計補正予算第5号	22,000	22,000				0	
合計		343,917	317,428	171,960	18,630	0	7,859	

## ②特別定額給付金給付事業など

### 令和2年度5月補正

**特別定額給付金給付事業【新規、国庫補助事業】（企画政策課）** **3,001,700千円** **国 10/10**

基準日（令和2年4月27日）において、住民基本台帳に記録されている市民に対し、一人につき10万円を支給する。

- ・給付金（10万円×住民基本台帳人口） 2,972,700千円
- ・給付事務費（システム改修、需用費、役務費など） 29,000千円

最終申請数 令和2年9月17日最終支払日

申請世帯 対象	10,562世帯	申請	10,543世帯	申請率	99.8%
申請人数 対象	29,702人	申請	29,682人	申請率	99.9%

### 令和2年度9月補正

**新生児特別定額給付金給付事業費【企画政策課】** **15,200千円** **市単**

令和2年4月28日（特別定額給付金基準日の翌日）以降に生まれ、小矢部市に住民登録された新生児に対し1人10万円を支給する。

- 支給対象児 令和2年4月28日から令和3年4月1日までの間に生まれた新生児
- 支給額 支給対象児1人につき10万円
- 対象数見込 152人
- 最終給付数 147人

2回の補正 総額 3,016,900千円（国 3,001,700千円 市 15,200千円）

### ③ケーブルテレビ光ファイバ整備事業費など

令和2年度7月補正

ケーブルテレビ光ファイバ整備事業費 補正額：763,400千円

新型コロナウイルス感染症への対応を進めるため、オンライン教育、テレワーク等の「新しい生活様式」に必要な情報通信基盤の整備としてケーブルテレビ回線の光ファイバ化を行う

○事業内容 ケーブルテレビ回線を光ファイバ化する。

通信部分：国庫補助 1/3	125,766千円	
放送部分：県補助 60%	218,460千円	<u>344,226千円</u>
臨時交付金：国庫補助残の 80%	201,227千円	
臨時交付金：単独事業	217,947千円	<u>419,174千円</u>

整備工事着手日 令和2年11月25日 工事完成予定日 令和3年11月30日

回線利用 申込み開始 令和3年7月上旬 供用開始予定日 令和3年12月上旬

(申込み詳細はトナミケーブル冊子参照)

契約金額 709,500千円



## ④ワクチン接種事業費など

令和2年度2月補正

新型コロナウイルスワクチン接種事業費【健康福祉課】 補正額：197,300千円

予防接種法の一部改正及び国の令和2年度第3次補正予算の成立を受けて、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備や接種実施に係る費用を緊急に予算措置し、国からのワクチン提供後、速やかに市民がワクチン接種できるよう体制を整える。(国 10/10)

①接種体制整備関係費	76,212千円
○ワクチン接種券発行・記録管理	15,014千円
○接種会場の確保・管理	12,554千円
○接種会場運営スタッフ	5,574千円
○健康管理システム等の改修	6,870千円
○予約システム・コールセンターの運営	36,200千円
②接種実施関係費	121,088千円
○ワクチン接種委託（先行接種等）	18,039千円
○ワクチン接種従事者謝礼等	61,727千円
○接種会場運営スタッフ	26,843千円
○その他の経費（会場警備、接種用備品など）	14,479千円
③接種体制	
○接種方式：集団接種	
○接種会場：小矢部市農村環境改善センター	

## ⑤商工業振興対策費など

令和2年度7月補正

プレミアム付商品券発行事業等                      商工業振興対策費                      補正額：26,700千円

①プレミアム付商品券発行事業                      26,500千円

市内での消費喚起を目的として、プレミアム付商品券発行事業を支援する。

○事業主体                      まちなか周遊推進協議会（構成団体：市、商工会）

○対象事業者                      市内に店舗等を有する事業者（登録店舗制、ただし宿泊業除く。）

○販売金額・数量                      1セット5,000円×15,000セット（総額75,000千円）

○プレミアム率                      30%（1セット：額面6,500円＝500円券×13枚）

○プレミアム額                      1セット当たり1,500円（総額22,500千円）

②がんばる商店街支援事業                      200千円

越前町商店街協同組合がV字回復を目指し、県の補助制度を活用して行う垂れ幕等の製作に対し、市も応分の支援を行う

○事業費                      約800千円

○市補助額                      200千円（補助率 市1/4、県1/4）

換金実績 97,149千円    換金率99.7%                      1団体 275千円

## ⑤商工業振興対策費など

令和3年度4月補正

プレミアム付商品券発行事業等第2弾 商工業振興対策費 補正額：33,200千円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、市域経済への影響も懸念される中、消費喚起による市内事業者全般への支援を目的として、プレミアム付き商品券発行事業を実施する。

### ○事業概要

- ①事業主体 まちなか周遊推進協議会
- ②商品券発行額 130,000千円
- ③プレミアム率 30%
- ④商品券発行数 20,000冊（販売単価5,000円／冊）
- ⑤購入できる人 制限なし
- ⑥購入冊数 一人5冊まで
- ⑦対象事業者 市内に営業所を有する事業者
- ⑧商品券の有効期間 発行から3か月間
- ⑨販売方法 窓口販売（事前申込制）

### ○事業費内訳

- ①プレミアム費 30,000千円
- ②事務費 3,200千円

## ⑥教育委員会関係など

### 令和2年度9月補正

#### 情報教育環境整備事業費【教育総務課】

補正額：42,970千円

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に盛り込まれたGIGAスクール構想の実現に向けて、全児童生徒一人1台のタブレット端末整備に伴う通信量の増大などへの対応として、ネットワーク上のトラフィック負荷分散やIPアドレス不足対策を講ずるとともに、授業を円滑に進めるための教職員用タブレット端末の整備を行う。

- トラフィック負荷分散及びIPアドレス不足対策費等 35,648千円
- 授業用教職員タブレット端末整備費 9,746千円
- 既存パソコンルームの運用見直しによる事業費精査 △2,424千円

### 令和2年度12月補正

#### 情報教育環境整備事業費【教育総務課】

補正額：28,104千円

GIGAスクール構想の実現に向けた全児童生徒一人1台のタブレット端末整備に併せて全ての小中学校普通教室（特別支援学級含む）に大型提示装置（電子黒板）を配備し、「タブレット画面の共有」や「児童生徒の意見（表現）比較」、「インタラクティブ機能（映像への書き込みやそれらの保存）」などを可能とすることで、より効果的な教育のICT化を図る。また、児童生徒用タブレット端末の保護カバー（手提げ袋）の配備も行う。

- 電子黒板整備費（全普通教室88台（小学校57台、中学校31台））26,524千円
- 児童生徒用タブレット端末保護カバー（手提げ袋） 2,098千円
- 電子黒板配備計画見直しによる事業費精査（当該当初予算リース料の減額）△518千円

# 意見交換

テーマ      コロナ対策について～withコロナ時代を迎えて～

# MEMO